

令和7年度沖縄平和啓発 プロモーション事業

事業紹介 & 実施レポート

目次

1. 平和ワークショップ
2. 県外シンポジウム
3. 平和朗読会
4. アーティストコラボ企画
5. その他
6. 事業統括・今後の課題

令和7年度沖縄平和啓発 プロモーション事業

事業紹介 & 実施レポート

SECTION | 01

事業の目的

Objective

沖縄平和啓発プロモーション事業は、これまでに蓄積された資料等を活用して、沖縄戦の実相や教訓を次世代に継承するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信し、より多くの人々に深く理解してもらうことを目的としています。

さらに沖縄県では、戦後80年の節目を迎えるに当たり、これまでの歴史を振り返り、先の大戦における犠牲者を追悼するとともに、長期的な視点に立って将来を見据えながら、未来へ向け、平和で豊かな沖縄を実現するため、戦後80周年記念事業として、40事業に全庁体制で取り組んでいます。

沖縄県としては、本事業を通じて、次世代を担う若者をはじめ、多くの県民の「平和を考える機会」を創出するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外へ発信していきたいと考えています。

沖縄戦の体験を語り継ぎ、「沖縄のこころ」を世界へ。



SECTION | 02

本年度の 事業コンセプト

Concept

—— 戦後80年の今、みんなで考えよう。 ——

「戦後100年へ残す平和への想い」

企画全体を通し「戦後100年」という未来を見据え、今を生きる世代が何を残し、何を伝えるべきかを主体的に考えることを目的としています。戦争体験者が高齢化し、直接証言を聞ける時間が限られていく未来を生きる私たち。「体験者の声を直接聞ける最後の世代」として、その記憶を受け取り、次の世代へ手渡す責任を担っていることを実感してもらうため、戦争の記憶を他者の過去としてではなく、自分たちの未来として捉えることができる企画を取り入れ、本事業に参加された方が、平和の意味を自らの問題として考える契機とすることを目指しています。

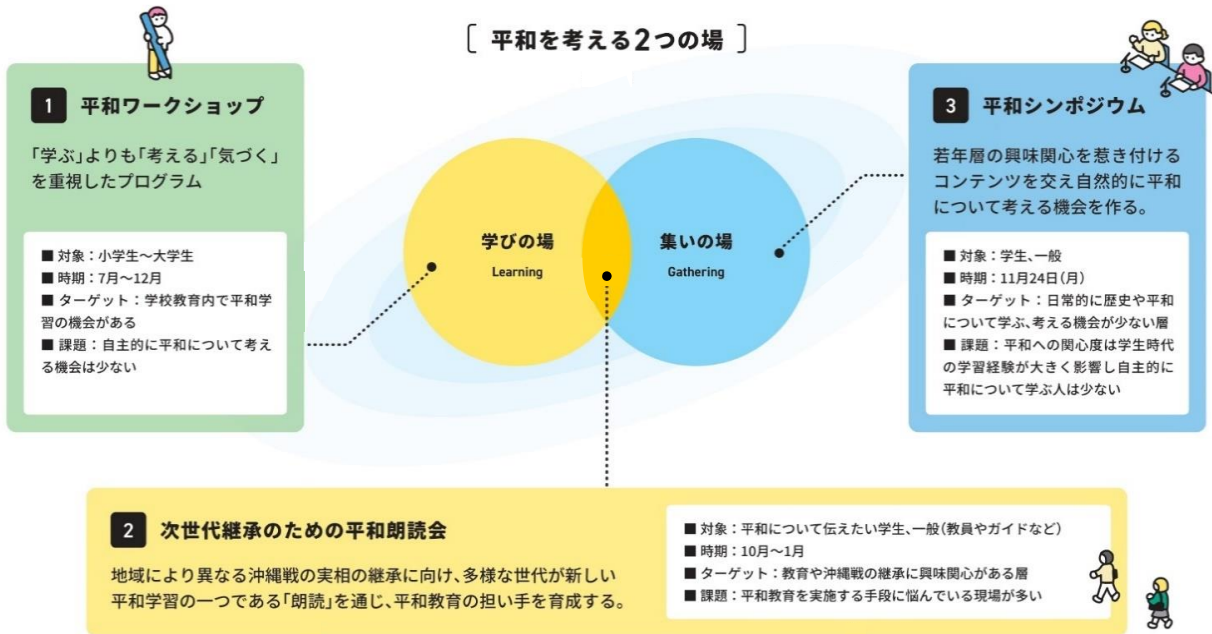


03

取り組み Initiatives

本事業ではプロモーションを実施する場を2つに分けて整理し、コンセプトに沿って場の目的や対象者に合わせたプロモーションを実施しています。

[平和を考える2つの場]



04

事業効果 Outcomes

令和7年度 沖縄平和啓発プロモーション事業の活動と成果を、数字を通して可視化しました。参加者数や実施回数など、具体的な実績から見える取り組みの広がりをご覧ください。

目で見える効果	1 平和ワークショップ	2 次世代継承のための平和朗読会	3 平和シンポジウム ※後日アーカイブ配信予定
実施回数	16回	5回	1回
参加人数	約1,630人	約80人	276人
	(沖縄県内9校 / 沖縄県外7校) (小学6年～大学1年)	(沖縄本島3回 / 八重山1回 / 宮古1回)	(東京都) (現地参加)

反応から見える効果	学びの変化 (ワークショップ)	参加者からの波及効果 (ワークショップ&朗読会)
	参加者からの感想として「楽しかった」や「気づくことができた」などの言葉が多く、ワークショップを実施したことで、平和について考える事へのハードルを下げ、自発的行動をもたらすきっかけを作ることができた。	ワークショップを実施した学校の教員や朗読会参加者から平和を考える手段として新たな手法を学んだことで実際に自身で企画して実践したいという声があがった。参加者による今後の波及効果が期待できる。

1 平和ワークショップの様子



3つの時代をつなげ！
おきなわヒストリー
Quiz

実施校一覧

■ 石川県:金城大学総合経済学部 総合経済学科(笠間キャンパス) ■ 神奈川県:神奈川県横浜市立横浜商業高校 ■ 島根県:学校法人 大多和学園 開星高等学校 ■ 埼玉県:武南学園武南高等学校 ■ 茨城県:茨城県立麻生高等学校 ■ 北海道:北海道札幌札幌丘高等学校 ■ 滋賀県:近江兄弟社中学校 ■ 沖縄県:名護市立久辺中学校 / 沖縄県立宜野座高等学校 / 北中城村立北中城中学校 / 那覇市立真和志小学校 / 那覇市立松城中学校 / 那覇市立城岳小学校 / 宮古島市立上野中学校 / 石垣市立大浜小学校 / 与那国町立与那国中学校

「3つの時代をつなげ！おきなわヒストリーQuiz」と題して、写真を使ったクイズを通し、「戦前・戦中・戦後」の沖縄の暮らしの変化を学び、平和について考える体験型のワークショップを実施。グループごとに意見を出し合いながら、平和への考えを深めました。同じ内容で小学生から大学生まで幅広い年代に対応できることやグループワークが中心のため、明るく和やかな雰囲気の中で進行でき、歴史や平和学習に少し苦手意識がある子どもたちも安心して参加することができました。

2 平和朗読会の様子

実施日・場所一覧

- 沖縄本島南部: 沖縄県立博物館・美術館(おきみゆー) [10月19日(日)]
- 沖縄本島中部: 宜野湾ベイサイド情報センター [12月17日(水)]
- 沖縄本島北部: 名護市中央公民館 [1月18日(日)]
- 宮古地域: [12月13日(土)]
- 八重山地域: 石垣市民会館 [12月14日(日)]

平和朗読会の詳細は「OKITIVE」をご確認ください。
<https://www.otv.co.jp/okitive>



OTVアナウンサーを講師に迎え新たな平和学習として注目されている「朗読会」について学ぶワークショップを実施。「発声・滑舌・読み」の基本スキルから表現方法まで参加者全員で実践しながら学びを深めました。



3 平和シンポジウム概要

第1部 YUNTAKU STAGE — 沖縄の想いをカタチに —

沖縄戦と平和劇
宜野湾市在住 大城さん(沖縄戦当時11歳)の証言を基に創作され、沖縄南部のガマ(自然壕)で起きた出来事を脚色したストーリーを沖縄の若い役者が演じます。沖縄県内での上演をはじめ、県外では、北海道・東京・千葉・大阪・広島・長崎で上演し、これまでの実績として67公演 / 5,000名以上の来場者を記録。目の前で繰り広げられる臨場感のあるストーリーが「文字や映像では伝わりづらい戦争体験の苦しみや悲しみ」を観客と共有します。

パネルディスカッション

「あなたは、次世代に向け、平和への想いをどう伝えていきますか?」映画・舞台・資料館など平和への想いをカタチとして表現し、継承する活動を行っている方々をゲストとして招き「平和を希求する沖縄のこころ」の表現方法や継承方法について、参加者と共に意見を交わし、考えていきます。

第2部 UMUI STAGE — 沖縄の想いよ届け! —

トークライブ

沖縄出身アーティスト「MONGOL800のキヨサク氏」が立ち上げた「詩い継ぐ 沖縄慰霊の日プロジェクト」とのコラボ企画。トークセッションにて、プロジェクト設立の背景や音楽での表現方法についてお話いただけます。UKULELE GYPSY キヨサク from MONGOL800として楽曲披露もあり! 音楽を通し会場全体で平和への想いを広げるステージに!

特別企画 PEACE LETTER 未来へ想いを届ける参加型プロジェクト

20年後の戦後100年の未来へ向けて今の想いを記しPEACE LETTERとして届けましょう! 記入したPEACE LETTERはInstagram@ PEACE LETTERにて投稿し、戦後100年まで残し続けます。戦後の世であり続けるために、あなたの想いを戦後100年へ届けませんか?

イベントコンセプト

— 戦後80年の今、みんなで考えよう。 —

「戦後100年へ残す平和への想い」

沖縄戦終戦から80年。戦争体験者が高齢化し、直接証言を聞ける時間が限られていく未来を生きる私たち。「体験者の声を直接聞ける」「体験者の顔が見える」最後の世代として、その記憶を受け取った私たち。今を生きる世代みんなで「戦後100年」という未来を見据え、何を残し、何を伝えたいかを一緒に考えてみませんか?

概要

- 日程: 2025年11月24日(月)
- 時間: 15:00 - 18:00 (開場14:30)
- 場所: 神田明神ホール (〒101-0021東京都千代田区外神田2丁目16-2)
- 料金: 入場無料
- 定員: 先着300名



沖縄県知事 玉城 デニー | 映画監督 平一 祐 | 演出制作者 永田 健作 | 一中戦没学徒資料室室長 大田 光 | UKULELE GYPSY キヨサク from MONGOL800

01 平和ワークショップ

SECTION 1

概要

児童生徒及び学生を対象に沖縄県平和祈念資料館に蓄積されている資料や沖縄平和学習アーカイブサイト等を活用して沖縄戦の実相を学習し、平和を希求する「沖縄のこころ」の理解を深めるためのワークショップを開催する。

- 対象者：小・中・高・大学生
 実施期間：令和7年8月～令和7年12月
 学校募集：チラシ配布・沖縄県による周知・受託事業者による周知
 実施規模：16クラス（県内9クラス、県外7クラス）
 参加人数：1,630名
 講師：受託事業者（株）ホット沖縄総合研究所 翁長愛音
 講師補助：受託事業者
 実施内容：①沖縄の歴史概要（戦前・戦中・戦後）
 ②グループワーク（写真を時代ごとに並べる）
 ③平和メッセージ記入



SECTION 2

実施内容

1. 実施校一覧

県外7校・県内9校（本島6校/離島3校）で実施。

県外7校	
県・圏域	学校名
石川県	金城大学総合経済学部 総合経済学科
神奈川県	神奈川県横浜市立横浜商業高校
島根	学校法人 大多和学園 開星高等学校
埼玉	武南学園武南高等学校
茨城	茨城県立麻生高等学校
北海道	北海道札幌丘珠高等学校
滋賀	近江兄弟社中学校

県内9校	
県・圏域	学校名
北部	名護市立久辺中学校
北部	沖縄県立宜野座高等学校
中部	北中城村立北中城中学校
南部	那覇市立真和志小学校
南部	那覇市立松城中学校
南部	那覇市立城岳小学校
宮古	宮古島市立上野中学校
八重山	石垣市立大浜小学校
小規模離島	与那国町立与那国中学校

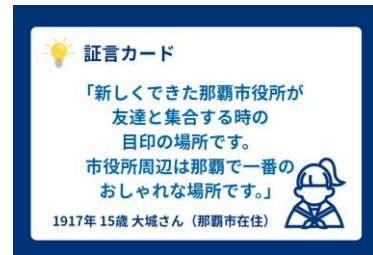
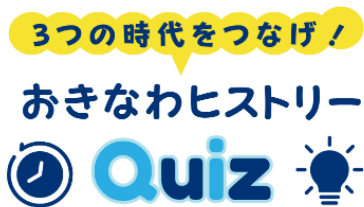
実施内容

2. 実施内容

■ タイムスケジュール（50分授業×2コマ想定）

00:00～00:05	①事業紹介・講師自己紹介
00:05～00:15	②導入（戦前～戦後の概要・グループワーク手順説明）
00:15～00:45	③グループワーク
00:45～00:50	④発表準備
00:50～01:00	～休憩～
01:00～01:30	⑤グループ発表と解説
01:30～01:35	⑥まとめ
01:35～01:40	⑦平和メッセージ記入

■ グループワーク詳細



当時の暮らしの様子が分かる写真資料を活用しグループワーク形式で進行。「暮らし」にフォーカスして戦前～戦中～戦後を考えることで、時代ごとの状況比較や自分自身の暮らしとの比較を行い、自分事として捉え考えることを目的とする。

〈事前準備〉

- ・グループ人数の設定：1グループ5～6人程度（実施人数によって変動あり）
- ・必要備品
 - ①暮らしの様子が分かる写真（グループで3種×1枚）
 - ②ヒントカード（証言を記入したカード）
 - ③模造紙（グループで1枚）
 - ④マーカー（グループで1～3本）
 - ⑤付箋紙
 - ⑥電子タブレット（1人1台）







実施内容

3. 実施の様子


■ 学校法人 大多和学園 開星高等学校（島根県）

日時	令和7年 8月25日（月） 11:00～12:50
学年・人数	2年生 200名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ実施が初回の学校だったため時間などは反応を見ながら調整した。 ・ホールでの開催だったためグループワーク時は前列の生徒が体を振り返りながら実施したが、問題なく進行できた。 ・修学旅行で沖縄へ訪れる際に、沖縄の高校生とのワークショップも企画されており、事前学習にもしっかり取り組んでいるとのことで沖縄の概要などの知識は持っている状態でのワークショップだったこともあり、戦前・戦中・戦後の歴史的背景の解説部分でも、知っているキーワードに反応する生徒や既存知識と掛け合わせてグループワークに取り組んでいる様子が見られた。 ・普段の授業でもタブレットを使用しているようで、調べる際もスムーズな様子で、1枚の写真で10枚以上調べているグループもあった。


実施内容

■ 横浜市立 横浜商業高等学校（神奈川県）

日時	令和7年 9月8日（月） 10:40～12:30
学年・人数	2年生 約200名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館が使用できないとのことで各教室にて実施希望があり、代表教室にて講師が待機し各教室にてオンラインを繋いで進行した。 ・ 修学旅行の事前研修で沖縄の概要についての知識があるため、グループワーク前に実施したインプット内容も問題なく理解できていた。 ・ グループワークにも慣れている様子で、直接講師がサポートできないクラスも多かったが、進行役や時間管理役がしっかりと、役割を果たし進行を進めながら実施できていた。 ・ 発表の際は、事前に発表するクラスを選定し、準備をしてもらっていたことで、タイミングごとに、クラスを当てた際には、代表者がPCの前まで来て、PC上で内容が確認できるよう、模造紙を見せながら全体に向け発表することができていた。
	

実施内容

■ 茨城県立麻生高等学校（茨城県）

日時	令和7年 10月2日（木） 13:25～15:15
学年・人数	2年生 200名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年全体での参加だったため、体育館で実施した。 ・ 沖縄修学旅行の出発直前（2週間前）だったため、生徒のモチベーションが高く積極的にグループワークを実施してる様子が見られた。 ・ 事前学習もほとんど終了している状態で沖縄の前提知識もあった。 ・ 離島（宮古島）への行程も含まれていたため、宮古島の沖縄戦について少し触れたことで、関心度が上がる様子が見えた。 ・ 人数が多く、グループワークの時間内に講師とサポートメンバー1名で全グループを回ることができなかったが、しっかりとグループ内で協力しながら、問題なく進行ができていた。
	

実施内容

■ 武南学園 武南高等学校 特進コース（埼玉県）

日時	令和7年 10月4日（土） 11:45～12:35
学年・人数	1・2年生 約60名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生は今年修学旅行へ行く直前の事前学習として、1年生は来年度に修学旅行へ行く際の初めての事前学習として参加していた。 ・授業時間の確保の都合上、通常2コマ利用して行うワークショップを1コマ分で実施する必要があり、冒頭のインプットの時間で詳しく解説をすることができないため、事前に資料を配布し、個人でワークショップの事前学習を実施した。 ・特進コースということもあり、参加した生徒全員が学びへの意欲が高く、グループワーク時にも全員で知っている情報を共有し合い、予想を立てて、検証として調査を行うという流れを、どのグループでも自然的に実施できていた。 ・調査で歴史的背景の深掘りをしっかり行えていたため、アウトプットとして出てきた内容も、これまで他の学校が気付かなかったような内容まで出せているグループが多かった。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>





実施内容

■ 北海道立 丘珠高等学校（北海道）

日時	令和7年 10月9日（木） 13:25～15:15
学年・人数	2年生 約260名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した学校の中で最も人数が多い学校。 ・沖縄へ訪れたことがある生徒は少なかったが他学校と比べると割合は高い印象だった。 ・北海道と沖縄という距離が離れている土地ではあるが、沖縄戦で北海道出身の兵士が多く命を落としている事を伝えると、驚く様子が見られた。 ・グループ数が43グループあり、サポートメンバーも含めて進行管理に少し苦勞した。1度で実施する最大人数は200名以内が限度でそれ以上の場合、2グループに分けての実施が良いと思われる。 ・サポートが行き届かない中ではあるが、グループメンバーで協力し、役割分担をしながら調査を行っている様子が見られた。
   	

実施内容

■ 金城大学 総合経済学部 総合経済学科 (石川県)

日時	令和7年 10月21日 (火) 9:00～10:30
学年・人数	1年次 110名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の必修 社会調査法の講義内にてワークショップを実施。 ・沖縄出身学生が数名、修学旅行などでこれまで沖縄へ訪れたことがある生徒が半数程度いた。 ・事前に各々が持っている知識をもとに、関連付けながら理解しようとしている様子が見られた。 ・大学の講義でグループワークをすることが少ないとのことで、はじめは中々進行にぎこちなさを感じる場面もあったが、役割分担をした後の調査の時間では他学年と比べると、短時間で調べた内容が深く、グループごとのまとめも分かりやすくまとまっていた印象。 ・ワークショップ後の感想でも、暮らしの写真から読み取る社会背景について関心を持っている生徒が多くいた。
	   

実施内容



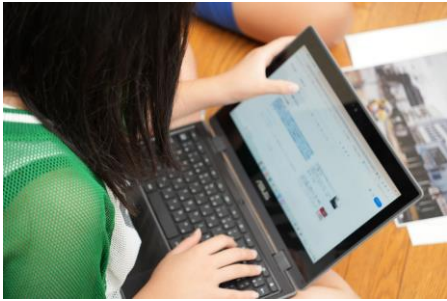

■ 近江兄弟社中学校（滋賀県）

日時	令和7年 12月8日（月） 13:05～14:45
学年・人数	2年生 99名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで修学旅行の行き先は海外だったが、今年から沖縄へ変更になり、初めての沖縄修学旅行を実施した学校。 ・修学旅行は実施済みで、事後学習としてワークショップを実施。 ・これまでの学校は事前学習としての扱が多かったため、修学旅行時に得た学びを思い出しながらの実施となった。行程として、平和祈念公園や、興南高校アクト部との首里城見学、佐喜眞美術館、沖縄国際大学「スマイライフ」の大学生とのワークショップなどしっかりと学びを深めるプログラムが設定されていたため、調べ学習では各々が持っている沖縄での学びの記憶をグループ内で議論しながら、進行していた。
	

実施内容


■ 那覇市立城岳小学校

日時	令和7年 9月2日（月） 13:30～15:00
学年・人数	6年生 90名 程度
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年の慰霊の日に合わせた学校全体での平和学習に加えて、高学年になると、遠足等で平和祈念資料館を訪れるなど、沖縄の歴史を知るプログラムが設定されているとのことで、戦中の知識はしっかりと理解しており、講師が解説中に問いかけると発言をする生徒が多かった。 ・ グループワークや調べ学習になれている様子で、グループワークがスタートすると、全員が一斉に話し合いを始め、前のめりで取り組んでいる児童が多くみられた。 ・ 疑問や質問なども積極的に講師やサポートメンバーに声を掛けたり、グループ同士で情報をシェアをし合う様子も見られた。 ・ 答え合わせの際にも、発表を希望するグループが多く、じゃんけんで譲り合いながら、時間内で多くのグループが発表することができた。




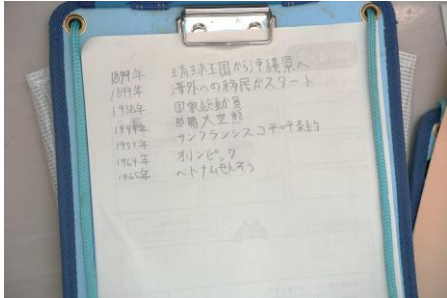
実施内容

■ 名護市立久辺中学校

日時	令和7年 9月5日（金） 10:45～12:35
学年・人数	1年生/2年生/3年生 84名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に平和学習などの企画にも取り組んでいる学校。 ・グループワークで取り扱う戦後の写真の中に、沖縄市コザで撮影された写真があるが、戦後の暮らし＝コザの街のイメージがない生徒が多く、学校区内にある「辺野古」を例えて出すと理解をしている様子だった。小学生・中学生は特に行動範囲が限られるため、対象となる地域の地理的要素や特徴を解説に取り入れることで、より歴史の解像度が上がるのが分かった。 ・グループワークでは、学年全体での実施とのことで、はじめの方は少しぎこちなさを感じるグループもいたが、予想を立てていきながら進めている様子うかがえた。
	

実施内容


■ 那覇市立真和志小学校

日時	令和7年 9月11日（木） 09:45～12:35
学年・人数	6年生 90名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体での慰霊の日に関連した平和学習や、沖縄本島南部を中心にしたフィールドワークなども実施しており、生徒1人1人の平和学習に対する意欲が高い様子が見られた。 ・グループワーク前の戦前・戦中・戦後の解説の際にも一生懸命にメモを取る生徒がおおく、知っているワードが出ると「知ってる！」「●●だと学んだ！」など発言をする生徒もいた。 ・グループワークも積極的に参加し楽しそうな様子で取り組んでいた。 ・発表の際にも、役割分担をしながら、調べたことをきちんと学年全体に向けて説明をすることができていた。
   	

実施内容

■ 宮古島市立上野中学校

日時	令和7年 9月18日（木） 10:30～12:20
学年・人数	2年生 40名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、平和学習で新たな取り組みを始めている学校で、戦時中の宮古島の様子を聞き取りやデスクリサーチ等で調査をしながら、Googleマップを活用して情報を取りまとめ、戦時中の様子が分かる地図を作成する取り組みを行っていた。 ・宮古島の戦時下の事象や暮らしについての理解度は高いが、沖縄戦全体に対しての情報は少ない様子が見られたため、宮古島での事象と関連付けながら、沖縄戦全体での出来事に対して理解を深めることができた。 ・学校での取り組み等で調査を経験していたこともあり、検索をするキーワードを出す際に多角的な視点でできていたことで、1枚の写真から多様な情報を探ることができていた。






実施内容

■ 那覇市立松城中学校

日時	令和7年 10月7日（火） 08:35～10:25
学年・人数	1年生/2年生/3年生 210名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄県内の実施においては、一番人数が多かった学校。 ・ ワークショップ前の戦前・戦中・戦後の解説の際には、メモを取りながら、真剣な様子で講師の話をしている生徒が多かった。 ・ グループワークでは、取材もあったからか、少し緊張している様子が見受けられたが、それぞれで知識を出し合いながら、予想をたてて、調査を進めていた。 ・ 発表の際には、学年ごとに指名をして発表してもらい、全体での発表に、ためらう様子もありながら、しっかりと調査内容をまとめて伝えることができていた。
	   

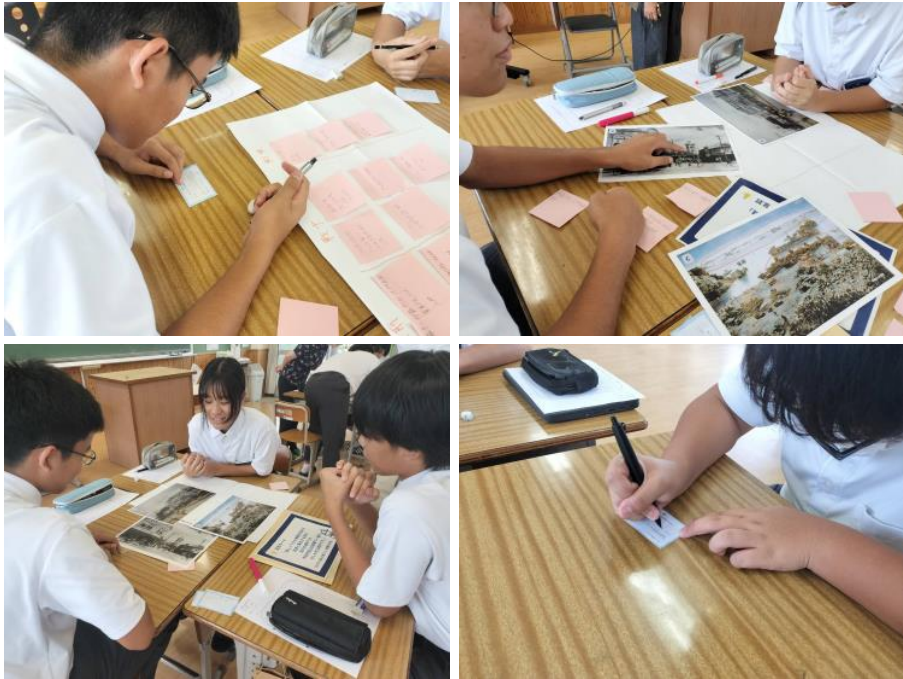
実施内容

■ 沖縄県立宜野座高等学校

日時	令和7年 10月28日 (火) 08:35~10:25
学年・人数	3年生 17名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の選択授業として設定している「沖縄の歴史」を選んだ生徒を対象にワークショップを実施した。 ・沖縄の歴史や文化に関心がある生徒が集まっていたことや、少人数だったこともあり、解説の時間では、それぞれがこれまで学んだ、知っているキーワードを発言しながら相互にやり取りをして進めることができた。 ・グループワークも4人1組で実施したため、1人1枚ずつ写真の担当を持ち、悩みながらもしっかりとすすめることができていた。 ・発表の際にはそれぞれのグループに互いでコメントしながら実施できクラス全体で主体的に参加している様子が見られた。
	

実施内容

■ 与那国町立与那国中学校

日時	令和7年 10月31日（金） 10:25～12:15
学年・人数	2年生 7名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・今回参加した2年生は、修学旅行で台湾への訪問がきまっており、事前学習として、沖縄全体の歴史や文化を県立博物館・美術館などを訪れ学んでいる最中での平和学習となった。 ・少人数で実施できたことで、講師と生徒の1対1のコミュニケーションが多く、一人一人の考えや発言をクラス全体で共有しながら進めることができた。 ・1人1枚の写真を担当していたため時間内で調べる量が多く、なかなか調査が進まない生徒もいたが、講師とサポートスタッフと対話しながらしっかり進めることができた。 ・発表の時間では1人1回は発言をする機会を作ることができ、調べたことを言葉でアウトプットするという一連の流れを全員が実施できたことで、台湾への訪問時に活かせそうという感想が上がった。
	

実施内容

■ 北中城村立北中城中学校

日時	令和7年 12月9日（火） 08:35～10:25
学年・人数	3年生 30名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体での慰霊の日関連の平和学習は実施しているが、クラス単位で外部講師を呼んで沖縄戦の歴史を深掘りした学習をするのは初めてのこと。 ・グループワーク前の解説の際にも、沖縄戦中の事象は知っている様子だったが、特に戦前の写真は「初めて見た」と驚く声があった。 ・PCを使用する学習は普段から実施しているとのこと、調べる時間は問題なく進行できていた。 ・歴史的背景を調べる検索キーワードを出す際に難しさを感じている様子が見られたが、少し講師からアドバイスをすると理解した様子で手を動かしていた。
	

実施内容

■ 石垣市立大浜小学校

日時	令和7年 12月15日（火） 10:35～12:15
学年・人数	4年生 52名
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施したワークショップの参加者の中で一番年齢が低い4年生が対象となった。 ・日本の歴史の授業もなく、沖縄全体の地理や歴史などの知識も少ないため他の学校で実施したスケジュールよりも解説の時間を長くとって沖縄の歴史について説明した。 ・解説の時間では難しそうな表情を見せていた児童も、グループワークの時間になると、前のめりになりながら必死に写真から情報を探す様子が見られた。 ・また、グループごとで探せた情報の数を競い合うような会話もありゲームのように楽しんで参加していた。 ・内容理解については、少し難しいように感じたが、平和学習や歴史を知ることのきっかけになったとの声もあがった。
	   

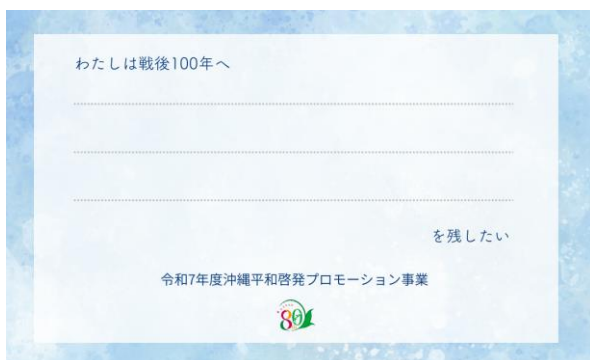
実施内容

4. 平和メッセージの記入

ワークショップの終盤では、戦前・戦中・戦後における暮らしの変化を振り返り、そこから得られた気づきを参加者同士で共有し、そのうえで、「戦後の時代を生きる自分自身の暮らしは平和といえるのか」「平和のために自分に何ができるのか」という問いについて、一人ひとりが考える時間を設けた。

また、平和への想いを”カタチ”として残す取組として、平和メッセージカードの記入を実施した。カードは1人1枚配布し、戦後100年（20年後）に向けたメッセージであること以外の条件は設けず、児童生徒が自由な発想で思いを表現できるようにした。

なお、記入されたメッセージカードは、取組③である平和シンポジウムの開催会場にて展示した。



※メッセージ内容はP4の概要ページへ



事業成果

1. 実績

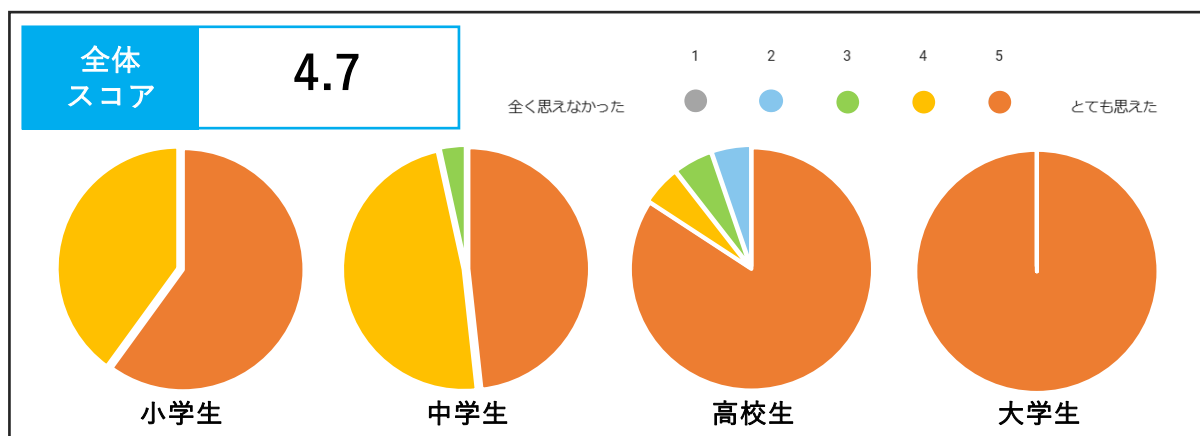
実施回数：16回（小学校3校・中学校6校・高校6校・大学1校）
参加者数：1,630名

2. アンケート結果

参加した生徒と担当教員向けにアンケートを実施。
生徒向け：4問（平和への理解・主体性・自分事化・興味関心）＋自由コメント
教員向け：2問（生徒の様子・学校現場での活用可能性）＋自由コメント

生徒向け

Q1 平和について「大切だな」と思えましたか？



Q2 自分からすすんで参加し、新しい発見や気づきがありましたか？

